PUBLICITY NEWS 35

学院広報
2010.3.24

平安女学院がマスコミに報道されました！！

日本テレビ「私が総理大臣になったら…」の番組で、セーラー服の歴史に触れ本学院を紹介

2010.2.26.19:56 日本テレビ
●太田光の私が総理大臣になったら…秘書田中

「京・歴史都市」のタイトルで、京都工繊大の中川理教授が明治館について解説

京・歴史都市
(9) キリスト教の進出
御所周辺にやってくる

平安女学院明治館
(1894年竣工/入母屋造り)
撮影：鵜山恭隆

明治初期、公家や武家の多くが京都を去ってしまった京都御所の周辺は、東京遷都による京都の没落を象徴する場所であった。それが、前回紹介したように、あたかも平安京の内裏のような御苑として整備されることになるわけだが、しかしそれでも、さらにその周囲には主のいない湿地地が拡がっていた。そうした土地には、しだいに近代を象徴する新しい施設が進出していくようになる。そこで特徴的だったのが、キリスト教に関連する施設が多いことであった。

最初にやってきたのは、同志社英学校だ。新島襄が創立した同校は、明治9(1876)年から御苑の北の薩摩藩邸跡に次々と校舎やチャペルを建設していった。 (5面に続く)

京・歴史都市

同志社大学クラーク記念館(1889年竣工／設計 R.ゼール)
撮影：鵜山恭隆

(9) キリスト教の進出
歴史性と近代化あわせ持つ

(9面の続き)→そして御苑の西には、明治2年(1869)年に大阪川口居留地にあった日本製公会の同期女学校が、平安女学院と改名して移転し、後五のチャペルや校舎を建てた。さらに、御苑の南には明治34(1901)年にハリストス正教会が、西日本の拠点としてビザンチン様式の京都聖堂を建設した。また、御苑の東にも、明治の中期に浄土真宗会が作られている。

こうして、御苑の周囲に学校や教会を次々と作っていったキリスト教各宗派にとっては、京都御所に接するということの場所こそが重要であったはずだ。聖書にれた京都御所は、東京とは異なり、こうしたキリスト教関連の建物は文化財として残されている。

同志社大学には明治期に建てられたもう2つの煉瓦の建物が残されている。それも重要文化財。美しいキャンパス景観が維持されている。

平安女学院では、明治期の校舎(明治館)が修復工事によりみがえりキャンパスのシンボルとなっている。ハリストス正教会が全国に建設した教会堂のひな形となった京都聖堂も、今でも設定である。

こうして建築遺産が作り出す景観は、歴史性と近代化の二つの性格を同時に表すことになった近代京都を象徴するものとしてあるのだと言えるだろう。

(京都工芸繊維大学教授・中川理)

2010.3.7 京都民報

単行本「京都がいちばん 京都でいちばん」に本学院の初代セーラー服

時代の移り変わり映した学生服

時世が激変した明治期から大正期にかけて、西洋文化の流入とともにモダンな洋装の学生服が次々と登場します。陸軍式の黒詰襟やセーラー服など、おなじみの制服が初めてお目見えしたのは、京都でした。

Q 語呂の男子学生服の通称「学ラン」の"ラン"の語源は何でしょう？

❶走る（RUN）姿のラン　❷オランダのラン
❸風雷のラン　❹「けしからん」のラン

A

1872（明治5）年、フランスにならった学制が公布され、日本では新しい教育体制が始まりました。洋服の学校制服が採用されたのは、その翌年以降のことです。当時の学生は、着物に袴というスタイルが主流でしたが、先進的な欧米諸国の理化学がいち早く導入された工部省工学寮（のちに東京大学に合併）や札幌農学校（現・北海道大学）で、作業着風の洋服が制服として採用されたそうです。

詰襟の男子制服が登場するのは1879（明治12）年。京都から東京へ移設された大学予備校で、統合の立ち襟の海軍士官の制服（ボタンなしのホック式）を元に作られました。ただ、"黒の詰襟"というやさしいボピュラーな「学ラン」は、京都が最初と考えられています。1884（明治17）年に京都師範（京都教育大学の前身）で、当時の陸軍の制服を参考に生徒たちが自ら黒詰襟の制服を定めたとの記録が残っています。1886（明治19）年には、文部省で全国の高等師範学校に制服を制定することが決まり、京都書店の洋服店「村田堂松原商店（現・村田堂）」が1889年から、市内の学生服の製造・販売を開始します。

さて、「学ラン」という呼び名の由来は江戸時代、西洋の学問全般を「蘭学」と呼び、それをひっくり返して学生の着衣服を「学蘭」と呼ぶようになったといわれています。「蘭学」のランはオランダのラン。正解は❶です。男子学生の洋装の制服は、国の近代教育推進の姿勢の表れであり、同時に学生自身に"エリート"としての意識を持たせる意味も込められていたようです。

一方、女学生の制服スタイルに変化が現れるのは大正期。セーラー服を体操服として導入する動きは明治時代にもあったようですが、「羽織に袴姿の乙女」という伝統的なスタイルが好まれた現場では敬遠されず、立ち消えになったとか。やがて大正デモクラシーで民衆と女性の地位向上が叫ばれる時代へ。1916（大正5）年ごろ、華族女学校（現・学習院女子中・高等科）で洋装の制服が提案されたのに続き、1920（大正9）年、京都の平安女学院がセーラー襟の組のワンピースを日本で初めて採用します。セーラー服の原型は、水兵服。英国海軍から始まり、日本をはじめ、世界各国の海軍で採用。英国海軍士官の制服になっていたこともあり、子どものおしゃれ着としても流行していたそうです。平安女学院の制服は、パリから伝わったファッション雑誌の中で取り上げられていたセーラー服にヒントを得て、採用されたデザインではないかと考えられています。モードの最先端を取り入れた制服に憧れて、入学する生徒が続出したそうです。

1920（大正9）年に誕生した、平安女学院のセーラー服

2010.3月 京都新聞出版センター

有栖館で、KBSラジオの生番組 ―毛利准教授が出演

毛利准教授は、京都にまつわる歴史的な話とともに本学の有栖館について紹介しました。

2010.2.19 KBS京都 ラジオ

「京都の歴史ある大学」の代表として有栖館、明治館などを抱える平安女学院を紹介

（第3種郵便物認可）　2010年(平成22年)2月14日（日曜日）　読売新聞

今月のテーマ「京都の大学」　その1 ―「私立大学」

京都がわかる

今月の「京都がわかる」のテーマは「京都の大学」です。今週は「私立大学」を取り上げます。京都には歴史ある大学が数多くあり、「学生のまち」とも呼ばれるほど、市民生活に活力を与えてくれています。レベルに合わせて挑戦して下さい。出題と解説は「京都検定1級」保持者で、京都産業大日本文化研究所・上席特別客員研究員の小嶋一郎さんです。

問題1（3級レベル）
同志社大学の創立者は次のうち誰でしょう。
①緒方洪庵②福沢諭吉③新島襄④大隈重信

問題2（3級レベル）
立命館大学の発祥の地はどこでしょう。
①宇治②草津③衣笠④広小路界隈

問題3（2級レベル）
聖母女学院短大の校舎は戦時中、ある施設でした。さて、それは
①陸軍師団司令部②陸軍病院③陸軍調練場④陸軍工場

問題4（1級レベル）
校舎に「明治館」「有栖館」など歴史ある建造物がある女子大は。
①京都女子大②同志社女子大③平安女学院大④橘女子大

答えと解説

同志社大学の創設者です。さて誰でしょう

問題1 さすがにこれは簡単過ぎる問題ですね。答えは新島襄です。新島は1843年、江戸に生まれ、21歳の時に単身、米国に渡りました。当時はまだ鎖国に渡航することは禁じられており、危険を犯しての密航でした。

米国滞在中、世話になった家庭が敬虔なクリスチャンだったことも影響し、日本へ帰国後、これからは教育こそ大事、とキリスト教の精神を柱とした同志社英学校を75年に開校しました。これが同志社大のルーツです。

新島は翌76年には、女子塾を京都御苑の元公家屋敷に設立。これが現在の同志社女子大です。

問題2 立命館大の発祥の地は、京都御苑の東、河原町通に面する「広小路」でした。衣笠キャンパス（北区）に移転するまで学生たちはこの地で学んでいました。

近くの鴨川沿いの一帯には「三本木」という花街エリアがあり、「吉田屋」という料亭があり、幕末に長州藩の桂小五郎（後の木戸孝允）をはじめとする倒幕派の志士たちが密会した場所としても知られています。

「吉田屋」はその後、「清輝楼」に引き継がれ、その清輝楼の建物を仮校舎として、1869年、私塾「立命館」が誕生。1900年に私立京都法政学校となり、翌01年、広小路に校舎を移転しました。そのすぐ南には江戸時代後期の文人、頼山陽が住んでいた水西荘（現在の龍谷大学紫水明処）があります。

洛中でも屈指の風光明媚な場所として親しまれた水西荘は、この地に立命館大は産声を上げたのです。（答 ④）

問題3 関係の建造物があったは、にわかに信じられないのではないでしょうか。伏見区深草にある聖母女学院短大の校舎は、キャンパスが面する本町通からもよく見えます。「旧陸軍第十六師団司令本部」。日露戦争が終わり、戦勝の余韻が残る1908年に軍備拡充の一環として建てられた軍の施設です。

この司令本部の周辺には、衛戍病院（現在の京都医療センター）や歩兵・砲兵連隊聯隊セ谷学院深草キャンパス）などが立ち、南北には師団街道という兵員や軍用物資輸送のための幹線道路も走っていました。師団街道の名は今も親しまれています。

太平洋戦争の間、師団司令本部は上部が黒く塗られていたといいます。おそらく空襲で標的となるのを恐れたのでしょう。もちろん現在は当時の黒い塗料は除かれています。

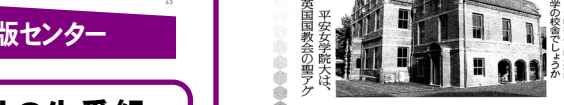
男の職場であった陸軍司令本部が、女学校に華麗なる変身を遂げたというわけです。また、近所には「軍人湯」というなのレトロな銭湯もあります。（答 ①）

問題4 英国国教会の聖アグネス教会を母体とする女子大です。1875年、大阪の外国人居留地で宣教師エディによって開かれた「エディの学校」がその起源です。

その後、「照暗女学校」と改名し、1895年に京都に移転しました。その時、校舎として建てられたのが、現在の「明治館」です。当初は本学校、教室、教会などの学校としての主機能を果たしてきました。

現在は国の登録有形文化財となっています。建築様式は「クイーン・アン・スタイル（アン女王様式）」。英国や米国で当時流行した、重厚な中にも華やかさを兼ね備え、機能的な近代建築です。

「有栖館」は、京都御所建礼門の前に立った有栖川宮家の旧邸。京都地方裁判所の仮庁舎として使用された後の1891年、現在の場所に移り、京都地方裁判所長宿舎として2007年まで使われ、今は同大学の施設になっています。書院造りの趣ある建物で茶道、華道の授業などが行われています。（答 ③）



レンガ造りが特徴の「明治館」。どこの大学の校舎でしょうか

編集・田島武文

2010.2.14 読売新聞